

津山工業高等専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)		授業科目	コミュニケーション学Ⅰ		
科目基礎情報								
科目番号		0101		科目区分		専門 / 選択		
授業形態		講義		単位の種別と単位数		学修単位: 2		
開設学科		総合理工学科(先進科学系)		対象学年		4		
開設期		前期		週時間数		2		
教科書/教材		なし						
担当教員		角谷 英則						
到達目標								
学習目的：社会学的な思考の方法をまなぶことを通じて教養を深め、視野をひろげること。 到達目標：人文・社会科学的な視点からコミュニケーションという現象について多面的に理解するための視角を獲得すること。								
ルーブリック								
		優	良	可	不可			
評価項目1		十分に授業に参加すること	2/3以上の授業に参加すること	2/3以上の授業に参加すること	10時間をこえて欠席すること			
評価項目2		指示に十分に合ったレポートを提出すること	指示にある程度合ったレポートを提出すること	指示に最低限したがったレポートを提出すること	指示に従ったレポートを提出しないこと			
評価項目3		なし	なし	なし	なし			
学科の到達目標項目との関係								
教育方法等								
概要		一般・専門の別：一般 人文・社会 基礎となる学問分野：社会学 学習教育目標との関連：本科目は総合理工学科学習教育目標「⑤グローバルな視点と社会性の養成」に相当する科目である。 技術者教育プログラムとの関連：本科目が主体とする学習・教育到達目標は「(B)地球的視野に立った人間性の育成」「B-2:地球上の多様な歴史観・文化・習慣の違いを理解し、説明できること」である。 授業の概要：この授業においては、コミュニケーションに関する具体的問題を個別具体的にとりあげ、その社会学的把握をめざす。						
授業の進め方・方法		授業の方法：基本的には演習形式によって進める。 成績評価方法： 原則として2回の試験または口頭報告で評価する（50%×2）						
注意点		履修上の注意：本講義では、授業時間外における学生自身による準備が必要となることに留意されたい。本科目を選択した者は、学年の課程修了のために履修（欠課時間数が所定授業時間数の3分の1以下）が必須である。また、本科目は「授業時間外の学修を必要とする科目」である。当該授業時間と授業時間外の学修を合わせて、1単位あたり4.5時間の学修が必要である。授業時間外の学修については、担当教員の指示に従うこと。 履修のアドバイス：カリキュラムにおいて設定されている時間数に比するなら、学習内容は膨大である。授業において、すべてを網羅することは不可能なので、図書館の利用などによる主体的学習が望まれる。 基礎科目：世界史（1年）倫理（1）日本史（2）政治経済（2） 関連科目：社会科学概論（専2） 受講上のアドバイス：遅刻に対するペナルティは特にもうけないが、受講者の良識を期待する。特別な事前学習は必要ではない。						
授業の属性・履修上の区分								
☒ アクティブラーニング		☒ ICT 利用		☒ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業		
履修選択								
授業計画								
		週	授業内容			週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ガイダンス					
		2週	課題の設定			以下、当該週のための準備および学習内容の定着を行う。		
		3週	演習					
		4週	演習					
		5週	演習					
		6週	演習					
		7週	演習					
		8週	後期中間試験					
	2ndQ	9週	演習					
		10週	演習					
		11週	演習					
		12週	演習					
		13週	演習					
		14週	演習					
		15週	後期末試験					
		16週	演習					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標								
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合								
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	レポート	合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	100	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	100	0	100

專門的能力	0	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0	0